

三重県文化振興計画の概要

1 はじめに (P1、2)

計画策定の趣旨・位置づけ

▶ 社会情勢や国の動向等を踏まえ、「三重県文化振興条例」第9条に規定する「文化の振興等に関する基本的な計画」として策定（また、「文化芸術基本法」に規定する「地方文化芸術推進基本計画」に位置づける）

計画期間 令和6（2024）年度～令和8（2026）年度

対象とする文化の範囲 「文化芸術基本法」、「三重県文化振興条例」の規定を踏まえた分野（芸術／芸能／生活文化／国民娯楽／文化財等／伝統芸能等／伝統工芸）

2 計画の背景 (P3～15)

文化を取り巻く状況

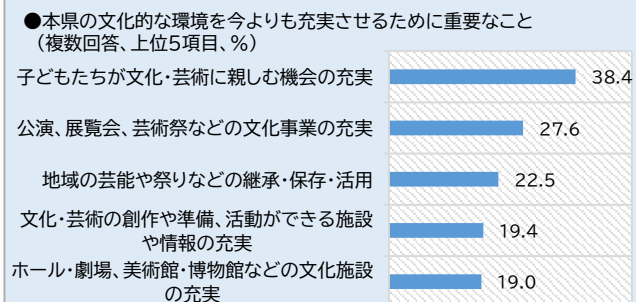
- ▶ **社会情勢**
 - ・人口減少と少子高齢化の進行
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響
 - ・デジタル技術の進展
 - ・外国人旅行者の増加
 - ・大規模災害のリスクの高まり
 - ・SDGsへの貢献
- ▶ **国の動向**
 - ・「文化芸術基本法」の改正
 - ・「障害者による文化芸術の推進に関する法律」の制定
 - ・「文化財保護法」の改正
 - ・「文化観光推進法」の制定
 - ・「博物館法」の改正
 - ・「第2期文化芸術推進基本計画」の策定

「新しいみえの文化振興方針」の取組による成果と課題

- ▶ **施策の方向性1 人材の育成**
【課題】 コロナ禍による人材育成事業の実施数及び参加者の減 など
- ▶ **施策の方向性2 歴史的資産等の継承・活用**
【課題】 文化資源を活用したまちづくりなど、地域住民等の主体的な活動への更なる支援 など
- ▶ **施策の方向性3 新たな価値の創出**
【課題】 観光、地域づくりなど、さまざまな主体との連携を検討し、文化を切り口とした活力ある地域づくりに向けた取組の促進 など
- ▶ **施策の方向性4 情報の受発信**
【課題】 地域の文化活動など、さまざまな機会を活用した文化情報の収集・発信 など
- ▶ **施策の方向性5 文化拠点機能の強化**
【課題】 コロナ禍後を見据えた、魅力的な展覧会や公演、講座の実施による、文化にふれ親しむ機会の充実 など

「今後の文化行政のあり方に関する県民意識調査」の結果

- ▶ 県民の皆さん5,000人（※実質配布数4,963）を対象にアンケート調査を実施
（調査期間：R5.10.13-27、回収数：2,427、回収率：48.9%）



3 計画の基本目標と基本方針 (P16～23)

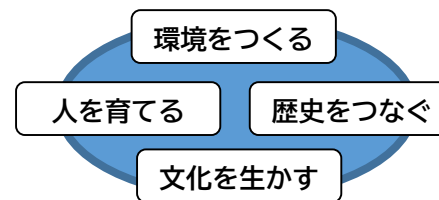
基本目標

文化の力で心豊かに活力ある三重を実現

取り組むべき課題

- コロナ禍後を見据えた、魅力的な展覧会や公演等の実施による、誰もが文化にふれ親しむ機会の充実
- 次代を担う子どもたちが文化にふれ親しむ機会のより一層の充実
- 人口減少や少子高齢化が進む中での文化活動の推進と人材の育成
- 地域の伝統文化や文化財への関心を高めるとともに、適切な保存・活用を進め、未来に確実に継承していく取組の促進
- 観光、地域づくりなど、さまざまな主体との連携を検討し、文化を切り口とした活力ある地域づくりに向けた取組の推進

4つの基本方針



3つの重点施策

- ▶ **重点施策1** 県民の文化に対する関心及び理解の醸成
- ▶ **重点施策2** 子どもたちの文化活動の充実
- ▶ **重点施策3** 文化と観光等との連携

4 施策の展開 (P24～43)

基本方針	基本施策	取組の方向性
1 環境をつくる ～文化にふれ親しみ、創造できる環境づくり～	(1) 県民の文化に対する関心及び理解の醸成	・文化に関する普及啓発 ・文化について学び、体験する機会の充実 ・イベント等の機会をとらえた関心の醸成
	(2) 県民の鑑賞等の機会の充実	・質の高い文化や芸術を鑑賞する機会の充実 ・文化に関して活動し、創造する機会の充実 ・アウトリーチ活動の推進
	(3) 高齢者、障がい者等の文化活動の充実	・高齢者の文化活動の充実 ・障がい者の文化活動の充実 ・誰もが文化にふれ親しむことができる環境づくり
	(4) 子どもたちの文化活動の充実	・子どもたちが文化にふれ親しむ機会の充実 ・学校教育等との連携
	(5) 文化活動への支援	・文化団体等のネットワークづくりへの支援 ・文化活動に対する支援情報の提供 ・新たな支援のあり方の検討
	(6) 文化施設の充実	・県立文化施設の機能の充実 ・県立文化施設間の相互連携の強化
2 人を育てる ～文化を育み、継承する人材の育成～	(7) 文化の担い手の育成及び確保	・文化の担い手やそれを支える人材の育成と支援 ・文化活動を行うための環境の整備
	(8) 顕彰	・顕彰制度の実施
3 歴史をつなぐ ～三重の歴史的資産等の保存、活用及び継承～	(9) 三重の歴史的資産等の保存、活用及び継承	・三重の歴史的資産等の保存、活用及び継承
	(10) 文化を生かした地域の活性化	・文化資源を生かした地域活性化の支援
4 文化を生かす ～文化を生かした地域の活性化と魅力の発信～	(11) 文化と観光等との連携	・県立文化施設を中核とした文化観光の推進 ・文化資源を生かした観光振興施策との連携 ・伝統産業・地場産業及び食の産業振興施策との連携
	(12) 歴史と伝統文化を生かした郷土愛の醸成	・三重の歴史と伝統文化を学ぶ機会の充実 ・子どもたちへの郷土教育の推進 ・郷土の偉人の業績による誇りづくり
	(13) 三重の文化の魅力の発信と交流の推進	・三重の文化に関する情報の発信 ・デジタル技術の活用 ・文化を通じた交流の推進

5 計画の推進と進行管理 (P44～46)

各主体に期待される役割／県の責務・推進体制等

- ▶ 県民の皆さん、文化団体等、教育機関、事業者等がそれぞれの立場に応じて連携・協働
- ▶ 県は、各主体、国や他の地方公共団体等と連携して、文化の振興等に関する施策を総合的かつ計画的に推進
- ▶ 県は、県庁内における横断的な連携体制の構築
- ▶ 県と市町は、効果的な連携を実現するための仕組みを構築

進行管理

- ▶ 指標と数値目標を設定し、毎年度事業成果の評価・検証を行い、PDCAサイクルによる進行管理を実施
- ▶ 有識者等による「評価・推進会議（仮称）」を設置

成果指標

項目	指標	現状値 (R4)	目標 (R8)
1 環境をつくる	参加した文化活動、生涯学習に対する満足度	75.5%	76.6%
	県立文化施設の利用者数	98.2万人	140万人
2 人を育てる	文化や芸術の鑑賞・体験授業に参加した児童生徒等の人数	27,014人	33,500人
	文化振興に係る人材の育成を目的とした事業の参加者数	1,104人	1,950人
3 歴史をつなぐ	文化財の保存・活用・継承に向けた支援活動の実施件数	79件	92件
4 文化を生かす	県立文化施設を中核とした文化観光ルートを構築した地域数	—	5件 (累計件数)